

小型ブルーチップオープン



マンスリーレポート

追加型投信/国内/株式

受賞情報

小型ブルーチップオープン

LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2025

投資信託部門/評価期間5年/株式型 日本 中小型株





Winner 2025 Japan

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。

詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆®皮・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

NOMURA

マンスリーレポート

小型ブルーチップオープン

2025年4月30日 (月次改訂)

●信託期間

2025年1月

2024年7月

2024年1月

2023年7月

2023年1月

●決質日

●信託設定日 1996年7月31日

無期限

(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

原則1月7月の各30日

680 円

700円

590 円

530 円 380 円



追加型投信/国内/株式

運用実績 2025年4月30日 現在



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※	21,066 円
	※分配金控除後

純資産総額 264.0 億円

騰落率					
期間	ファンド	ベンチマーク			
1ヵ月	-2.0%	-0.1%			
3ヵ月	-7.0%	-0.8%			
6ヵ月	-2.4%	2.0%			
1年	-4.2%	2.9%			
3年	48.5%	50.6%			

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

業種別配分

設定来 377.6% 442.8% 設定来累計 12,100 円

設定来=1996年7月31日以降

業種

ガラス・土石製品

機械

建設業 電気機器

銀行業 その他の業種

当ファンドは、設定来2000年8月まで店頭ジャスダック指数をベンチマークとして採用しておりましたが、'00年9月からはRussell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み)へ変更しております。ベンチマークの累積収益は旧ベンチマークと現行ベンチマークの各々の採用期間の騰落率をつないで算出し、設定日前日を10,000として指数化しております。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。 ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて 委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

純資産比

8.8%

7.2%

6.5% 6.5%

59.7%

4.7%

100.0%

資産内容 2025年4月30日 現在

資産・市場別配分				
資産·市場	純資産比			
株式	95.3%			
東証プライム	92.5%			
東証スタンダード	2.4%			
東証グロース	0.4%			
その他	_			
株式先物	_			
株式実質	95.3%			
現金等	4.7%			

[・]株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。
・・練査は東証33業種分類による。
・・練資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております

その他の資産

組入上位10銘柄 2025年4月30日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比	
住友不動産	不動産業	東証プライム	4.0%	
円谷フィールズホールディングス	卸売業	東証プライム	3.2%	
横浜ゴム	ゴム製品	東証プライム	2.9%	
鹿島建設	建設業	東証プライム	2.5%	
古河電気工業	非鉄金属	東証プライム	2.4%	
日本製鋼所	機械	東証プライム	2.3%	
日東電工	化学	東証プライム	2.3%	
住友林業	建設業	東証プライム	2.3%	
日本電気硝子	ガラス・土石製品	東証プライム	2.3%	
コンコルディア・フィナンシャルグループ	銀行業	東証プライム	2.2%	
合計				

組入銘柄数 : 85 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産 比と当ファンドが保有するマザーファンド 比率から算出しております。

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆ 設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

会計・業種は東証33業種分類による。

NOMURA

マンスリーレポート

2025年4月30日 (月次改訂)



ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- わが国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中小型株を実質的な主要投資対象※¹とします。
- ファンドにおいて中小型株の分類は、時価総額や発行済株式数その他を総合的に勘案して行ないます。当面は Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス※2の採用銘柄を主体とします。
 - ・組入銘柄の時価総額や発行済株式数等の異動があった場合も実質的な主要投資対象として保有を続ける場合があります。
 - ※1「実質的な主要投資対象」とは、「小型ブルーチップオープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ※2 Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura Total Market インデックスは、 わが国の全金融商品取引所上場銘柄の累積時価総額の98%超をカバーしています。このうち、累積時価総額下位約50%の銘柄によりRussell/Nomura Mid-Small Cap インデックスが構築されています。Russell/Nomura 日本株インデックスにおける「時価総額」による分類は、安定持ち株控除後の時価総額を指しています。対象銘柄は 毎年見直されます

小型ブルーチップオープン

追加型投信/国内/株式

- 中小型の成長銘柄をバリュエーションを勘案して厳選します。
- ボトムアップにより銘柄を選択します。
- "成長性"は運用担当者独自の尺度ではかります。
- "バリュエーション"は個別銘柄別に判定します。
- 中長期投資が基本スタンスです。
- 極端な重点投資は行ないません。
- 成長銘柄の株価の成長をフルに捉えるために、株式の実質組入比率は基本的に高位で臨みます。
- Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み)をペンチマークとします。

■指数の著作権等について■

Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

- ファンドは「小型ブルーチップオープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年1月および7月の30日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
 - 分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。
 - 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証する ものではありません。

市況動向、資金量、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒 産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生 じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

●信託期間

無期限(1996年7月31日設定)

●決算日および 収益分配

年2回の決算時(原則、1月および7月の30日。休業日の場合は 翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。

●ご購入価額 ご購入申込日の基準価額

●ご購入単位

一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)

または1万円以上1円単位

自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位

※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。

●ご換金価額 ●課税関係

ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時 および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA (少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを 利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」応じて異なりますので、表示することができません。 の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。 なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合が あります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自
	に定める率を乗じて得た額
	*詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用	ファンドの純資産総額に年1.672%(税抜年1.52%)の率を
(信託報酬)	乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用·手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、
	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに
	関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。
	※これらの費用等は運用状況等により変動するため、
	事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.5%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

- ●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期 決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- ●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル) <受付時間>営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★ https://www.nomura-am.co.jp/

<委託会社>野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>株式会社りそな銀行

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファン ドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありま せん。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあ たっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆BDE・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アヤットマネジメント株式会社 高 またり という エー・アング (本) またり 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



マンスリーレポート

小型ブルーチップオープン

追加型投信/国内/株式

2025年5月 (月次改訂)



先月の投資環境

- 4月の国内株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が月間で0.32%上昇し、月末に2,667.29ポイントとなりました。
- 4月の国内株式市場は上昇しました。月初は、トランプ米政権による貿易相手国に対する相互関税の詳細発表を受けて大幅に下落して始まりました。特に、米中の対立による貿易摩擦激化への懸念が高まりました。中旬にかけては、米国が日本など一部の国・地域に相互関税上乗せ部分の90日間の一時停止を発表したことが懸念後退につながり、上昇に転じました。日米交渉の進展への期待も投資家心理の改善につながりました。トランプ米大統領がFRB(米連邦準備制度理事会)のパウエル議長の解任を否定したことで、米ドル高・円安が進んだことも追い風となりました。月末にかけては、主要企業の決算発表が始まる中、自社株買いなど相次ぐ資本政策の公表を受けて堅調な値動きとなり、月間でも上昇しました。ベンチマークであるRussell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み)は、前月末比-0.05%となりました。
- Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込み)の業種別では、情報・通信業、小売業などが上昇する一方、石油・石炭製品、鉱業などが下落しました。規模別では、Russell/Nomura Mid Capインデックス(配当込み)が-0.34%、Russell/Nomura Small Capインデックス(配当込み)が+0.57%の騰落率となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- 月間の基準価額の騰落率は-2.04%と、ベンチマークを1.99ポイント下回りました。ベンチマーク対比では、保有している小売業株や機械株などの騰落率がベンチマークを上回ったことなどがプラスに寄与しました。一方、保有している非鉄金属株やゴム製品株などの騰落率がベンチマークを下回ったことなどがマイナスに影響しました。
- 主な売買では、人気キャラクターを活かした商材の販売拡大に注目した卸売業株を買い付けし、AI向け投資の縮小と 主力製品の需要減少リスクを懸念した非鉄金属株を売却しました。

今後の運用方針(2025年5月2日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ 今後の投資環境

日本経済は実質的な所得環境の改善を背景に、個人消費は安定的に推移するとみていますが、トランプ米政権による追加関税などの経済政策が景気の重石になりそうです。3月の景気ウォッチャー調査の先行き判断DIは前月から1.4ポイント低下し、45.2となりました。判断理由では米国の経済政策の影響を受けた先行き不透明感などへの言及も目立ちました。また、3月調査の日銀短観における全規模全産業の2025年度の設備投資計画は総じて堅調な見通しですが、想定為替レートは1米ドル147円程度であり現在(4月末、約143円)よりも円安水準を前提としています。振れ幅が大きくなっている金融市場動向が家計の消費行動や企業の意思決定などに与える影響が注目されます。現時点では、日銀の年内利上げを予想していますが、世界経済の下振れリスク、国内の賃金・物価、金融市場の動向など総合的な判断が求められる状況です。当社では2025年の日本の実質GDP(国内総生産)成長率は前年比+1.0%と予想しています。

2025年度の予想経常利益は前年度比2.2%増(野村證券金融経済研究所予想によるRussell/Nomura Large Cap[除く金融]、4月30日時点)、2026年度は同7.6%増(同上)となることが予想されます。

○ 運用方針

このような投資環境のもと、組み入れにあたっては、今後予想される産業構造の変化の中で、経営力、技術力、製品市場の成長性等の面から今後とも成長が期待される内外の企業および企業間競争に勝ち残ると思われる企業を選定することを基本とします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

小型ブルーチップオープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	0		0	0
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	0		0	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	0	0	0	0
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	0		0	0
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	0			
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	0			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	0	0	0	0
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	0	0	0	0
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	0			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	0	0	0	0
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	0	0	0	0
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	0	0	0	0
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	0			
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	0			
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	0			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	0	0		
PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	0			

小型ブルーチップオープン

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。 お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	0			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	0		0	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	0		0	

[※]上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。